

重点テーマ別取組内容

	若年・子育て世代の居住促進	健康かつ幸せな暮らしの実現	多様な地域魅力の創造	周辺の環境・景観に馴染む脱炭素社会に向けた居住空間の創出
公的賃貸住宅のストック活用	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯の優先募集 ・若年単身世帯の募集 ・子育て世帯がゆとりをもって居住できる住宅の供給 →既存住戸の2戸1化 →<u>50㎡以上の住宅供給</u> ・子どもの居場所づくり ・交流の場の創出 →住戸、集会所等の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>団地の地域コミュニティ・サービス拠点化</u> ・芸術・文化活動等の多様なアクティビティの場づくり ・団地と周辺とのネットワーク化、バリアフリー化、交流空間設置。 ・<u>集会所等を活用した健康体操、まちかど保健所等の実施</u> ・<u>移動販売による買い物支援</u> ・<u>公的賃貸住宅の省エネ化(断熱性向上等)</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>団地の地域コミュニティ・サービス拠点化</u> ・空き室、空きスペースの活用によるコミュニティビジネスなど新たな職の創出 ・地域住民や地域団体、学生等が多様な創作活動チャレンジできる場の創出 ・学生、留学生、社員向け住宅提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・郊外地域は、建替え住宅は可能な限り低層住宅。入居者の居住の安定確保が難しい場合は中層住宅 ・駅前地域は、原則、中高層 ・<u>外観デザインの魅力化</u> →府公社の「<u>外壁サイン計画</u>」 →府営住宅外観デザインガイドライン活用 ・<u>公的賃貸住宅の省エネ化</u>
公的賃貸住宅活用地の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・民間賃貸住宅の供給 ・木造低層の新たなデザイン ・ゆとりある郊外居住 ・職住一体・近接 →兼用住宅（店舗兼住宅） →店舗、オフィス等併設 ・<u>子育て支援施設の誘致</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活利便施設、介護施設、医療施設等の機能導入 ・緑道・公園沿いへの利便施設の設置 ・駅前に高齢者等の住み替え等促進のためのマンション供給 ・<u>地産地消のマルシェ等の誘致</u> ・<u>住宅の省エネ化(断熱性向上等)</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・立地特性に応じた多様な機能の導入 ・ライフスタイル提案型商業施設等 ・次世代ヘルスケア産業誘致 ・新産業導入の可能性の検討 ・近隣センターとの一体的な再整備による土地利用検討 ・<u>「住み開き」に対応した住宅供給</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑道等と一体となった、ゆとりある住宅地の形成 ・太陽光等の自然エネルギーの活用 ・木造住宅の供給促進 ・環境配慮型の先導的な住宅・建築物 →ZEH、ZEB等 ・郊外地域は原則低層 ・駅前地域は原則中高層
泉北NT全体 その他 ・ソフト ・スマートシティ等	<ul style="list-style-type: none"> ・既存戸建て住宅のリノベ ・みんなの子育て広場開設 ・交流の場の創出 →コミュニティカフェ等 ・働きながら子育てをするための生活支援機能や相談機能の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康増進、介護予防PG ・緑道・公園等のバリアフリー化、防犯面の配慮 ・緑道を活かしたウォーキングやジョギング活動促進 ・地産地消による食育の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>既存戸建て住宅の「住み開き」</u> ・企業等のインセンティブ等の環境整備 ・緑道、公園、近隣センター等を活かしたカフェやシェアオフィス等サードプレイス確保 ・新たなテーマ型、場の共有型コミュニティ活動の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通や自転車の利用促進 →<u>自転車道の整備</u> →<u>緑道の整備</u> 等 ・地区計画、建築協定、景観協定などの制度の活用 ・<u>緑空間の適切な管理</u>
スマートシティ	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>テレワークに対応した住宅の供給</u> ・<u>リモートワークスペース、シェアオフィス等創出</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した見守り ・<u>スマートシニアライフ事業の実証実験</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・パーソナルモビリティの実証実験 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートモビリティ、シェアサイクルとの連携 ・<u>ZEH化や再生可能エネルギー利用拡大</u> ・<u>EVや次世代モビリティを移動電源として活用</u>